

淡海生涯カレッジ彦根校の実践

彦根校実行委員会

1. テーマについて

彦根校は、平成 16 年度から“健康”をテーマとして開催してまいりましたが、受講生のニーズや、彦根の歴史と伝統を生かそうと考え、平成 25 年度からは、テーマを“学ぶ力は「生きる力」～歴史・文化・健康を学び、自分らしい生き方を探そう～”にリニューアルしました。また、仲間づくりにも力を入れ、「ともに学び合う楽しさ」や「つながることの良さ」を実感していただき、学習成果の発揮につながるよう応援しています。



2. 実施体制について

(1) カレッジオブザーバー

彦根校では、平成 12 年度からカレッジオブザーバー制度を設け、修了生の中から希望される方に就任いただいています。そのうち 4 名のオブザーバーには、実行委員会にも参画いただき、プログラム内容や講座の運営について、経験を生かした意見をいただいています。講座においては、受付や案内・誘導、グループでの話し合いやワークショップではファシリテーター的な存在を担っていただいています。



(2) 講座の特色

○仲間ができる！

開講式後の第 1 講では、「仲間づくりのために」と題して、ワークショップを行っています。アイスブレイクで心と体をほぐし、グループでの自己紹介や語り合い活動を通して、ともに学習する仲間のことを知り、学習の目的を共有できるように努めています。



また、全講座を通じてグループ活動を積極的に取り入れています。問題発見講座の健康をテーマにした講座では、グループごとに協力して調理実



習を行います。また、高校での実験・実習講座でも班ごとに調査を行ったり、顕微鏡を使って観察を行ったり、グループで机を囲み実習に取り組みます。大学での理論学習講座においても、感想などを話し合う時間をとり、意見を交流する機会を設けています。

○見て・触れて・体験できる！

問題発見講座では、現地研修やフィールドワークなど、実際に見たり・触れたり・体験できる講座を取り入れています。また、犬上郡・愛知郡の4町への現地研修を取り入れ、「彦根とのつながり」を感じられるようにしています。25年度は、「先人の知恵・生き方に学ぶ～井伊大老ゆかりの酒蔵を訪ねて～」と題し、豊郷町の酒蔵「岡村本家」と「豊郷小学校旧校舎群」を、26年度は、「芹川の流れをさかのぼる」と題し、多賀町の「河内の風穴」を、27年度は、「伝統の織りに触れる～高宮布から近江上布へ～」と題し、愛荘町の「近江上布伝統産業会館」を訪れました。



実験・実習講座では、2年ごとに彦根市内の県立高校に順番に担当いただいています。27年度は彦根東高等学校に4講座を開設していただきました。



実験・実習講座第3講では、「彦根の歴史を探る」のテーマのもと、校地内にある「史料館」と「御座所」を見学しました。「史料館」には、彦根藩校・彦根学校・彦根伝習学校・彦根初等師範学校・彦根公立中学校・滋賀県尋常中学校・彦根中学校時代の蔵書があり、「御座所」では1917年の秋季陸軍特別大演習にて大正

天皇が滞在された施設を見学しました。また、第4講「地球と太陽のふしぎ・ふしぎ」では、偏光板を使った実験や、顕微鏡での石の観察、太陽観測装置での太陽黒点の観察、天体望遠鏡での観察、簡易分光器を製作し太陽光のスペクトルの観察をしました。見て触れて確かめてみることで、肌で感じることでできる良い経験となりました。



滋賀県立大学での理論学習講座第2講では、「食べて健康！～あなたにあった食事とは？～」のテーマのもと、まず「健康」の損失を数値で表した『DALYs』という指標から、健康の損失の要因として食事に起因することが多いことを学びました。その後、体組成計で健康管理の関係因子とな

る内臓脂肪や基礎代謝を計測し、また、実物大のフードモデルを用いて、前日の夕食の栄養価について自動計算し、講師から改善すべき点についてアドバイスをいただきました。自分にあった量や食べ方について分かりやすく、直感的に理解することができました。



○カレッジだけの貴重な体験！

普段では、なかなかできないことができるのも、彦根校の特色です。貴重な体験は、学ぶ楽しさを知り、学びを深めることにつながります。

問題発見講座第5講「彦根城の謎を解明」では、彦根市教育委員会文化財課学芸員の方から、防御や治山の視点を交え、彦根城の特徴について詳しく説明いただきました。普段見られない石垣を特別に間近で見せていただき、身近な彦根城を新たな視点で学ぶことができました。



実験・実習講座第1講「英語を楽しもう」では、2016年に創立140周年を迎える彦根東高等学校の特別教室棟にて講座を行いました。特別教室棟は、県立学校では約50年ぶりの木造校舎として、平成25年3月に竣工されました。

A L Tの先生の英語での講座でしたが、英語部の生徒が各グループに入り、受講生をフォローしてくれました。分からない単語や表現を聞いたり、英語で会話をしたりするなど、生徒と交流することができました。講座が始まる前は英語に苦手意識があり、不安な気持ちを話される方もいらっしゃいましたが、時間が進むにつれて、楽しく学習する姿が見られました。



問題発見講座第1講「直弼の茶と心」では、直弼の生い立ちや茶の湯を極めようと思ひ立ち、完成を追い求めた直弼の心について学びました。彦根城博物館木造棟の和室でお茶をいただき、日常とはまた違った趣のある風情豊かなひと時となりました。

